

教育会だより No.6

第379回 諏訪季節大学会

期日 令和5年10月18日(水)15:00~

場所 岡谷カノラホール

オリンピック金メダリスト/相澤病院ブランドアンバサダー
小平奈緒さん 講演会 演題「人とつながる」

感染症対策を十分にし、一般の方にも参加を呼びかけ、第379回諏訪季節大学会が開催されました。スピードスケート金メダリストの小平奈緒さんを講師にお迎えし、「人とつながる」というテーマでご講演いただきました。茅野市出身で、世界で活躍されてきた小平奈緒さんによる大変わかりやすく、そして教育にも通ずる貴重なお話を聴講することができました。今後の各校の教育活動に活かされることを祈念しております。

第4回社員総会 10月27日(金)

【中澤教育会長あいさつ(一部抜粋)】

第3回社員総会以降の事業についてご報告します。まず、信州教師力Bですが、諏訪校長会との共催で行われました。信濃毎日新聞社佐藤秋彦先生を講師にお招きし、12名の先生方の参加がありました。第2回は6月20日に「コミュニケーション力~伝わる会話力~」という演題で信州ライフキャリア研究所、折山明先生より講話をいただきました。19名の参加でした。7月1日には信濃教育会総会更埴大会が行われました。諏訪地区からは19名が参加しました。今年度のテーマ「信州教育の創造~未来を拓く職能の向上~」に基づいて様々な研修が行われました。教育論文・教育実践賞受賞者によるポスターセッションでは、原中学校の平塚広司先生が原村学講座「原中ワインをつくろう」について実践発表をしました。夏季研修旬間については、教育会だよりでも紹介しましたが、各委員会で工夫を凝らした研修が行われました。第74回日本連合教育会研究大会は、8月17日、18日の2日間、山口県山口市で行われました。この研修会に諏訪からは3名が参加しました。パラリンピック女子マラソン金メダリスト道下美里さんの講演会がありました。

- 【協議】(1) 令和5年度 諏訪教育会事業等中間報告
各部中間事業報告 中間会計報告
(2) 諏訪の子どもや教育を語る会について
(3) 教職員バスケットボール大会について
(4) 諏訪教育会の会員確保に向けて

教職員バスケットボール大会について(若林特別部長)

今までと形式を変え、各学校1チームのみ。地区を4つに分けて、できるだけ同じ地区の学校で組めるようにしました。また1日開催ではなく、半日開催としたため、競技時間も変更しました。来年度以降は、開催時期を11月にしたいと思います。

諏訪教育会の会員確保に向けて(中澤会長)

教職員の再任用制度が始まり9年が経過しました。再任用者は県費職員を一旦退職し新たに任用されるため、諏訪教育会員であった教職員は退職に伴い本会を一旦退会した後、再任用に伴い本会への再加入が可能となります。再任用者の本会への再加入及び定年延長者の入会継続に向けて61歳以上の会員の会費軽減を進めていきたいと考えています。

- 【連絡】(1) 信教関係(教育実践賞の応募について)
(2) 令和6年度諏訪教育会定期総集会について
(3) 第5回社員総会について



社員の皆さんからの意見・要望

夏休みの研修旬間中、登山の楽委員会による八ヶ岳登山に本校から2名が参加しました。参加した先生から感想をいただいているので紹介したいと思います。子どもの頃から眺めていた八ヶ岳。出身地の諏訪に異動になったので、八ヶ岳登山に参加させていただきました。中学校の学校登山で登った時のことを懐かしく思い出し、他校の先生とおしゃべりしたり、また自分自身と向き合ったりしながら、気持ちの良い登山になりました。また職場を超えて視野も広がった、有意義な登山となりました。また、こういった研修を企画していただけるとありがたいです。

7月1日に行われた信濃教育会総集会更埴大会に本校から参加した先生の声を紹介したいと思います。パネルディスカッションやポスターセッション、オーケストラの演奏会など大変充実した研修となりました。中でも「AI時代にこそ子どもたちに付けたい力」と題した講演会からは多くのことを示唆されました。チャットGPTが台頭する世の中だからこそ、人間に求められるのはより高い読解力と判断力であるというお話から、これからの子どもたちに付けたい力について考えさせられたと聞いています。また機会があれば参加したいと感想をいただきました。

諏訪地区児童生徒絵画作品展

12月2日(土)まで 諏訪教育博物館

諏訪の子ども達の力作が展示されています。小1から中3までの多様な表現の絵画作品をどうぞご覧ください。



教職員作品展

11月29日(水)まで 教育会館内

廊下や階段に先生方のすてきな作品の数々が展示されました。来年度もたくさんの出品をお待ちしております。



赤彦祭

「碑前祭」(10月7日)



赤彦歌碑への献花、赤彦短歌献吟、小中学生及び一般短歌入選者表彰、入賞歌朗詠が行われました。諏訪教育会からは、正副会長、幹事長、研修部長の4名が代表として参加しました。

「赤彦の歌に親しむ集い」(10月13日)

赤彦研究会名誉会長 小口 明先生、赤彦研究会元会長 行田 喜信先生を講師としてお招きし、35名の参加を得て「赤彦の歌に親しむ集い」を実施しました。

参加者はグループに分かれ、赤彦の歌の中でも「くらしにつながる諏訪湖の歌」というテーマでグループワークをしました。自分が気に入った歌の解釈をし、紹介し合いました。同じ歌でも人によって様々な解釈があり、グループ内での対話から歌のとらえ方がより深まりました。

